

8. インターネットカフェ・まんが喫茶

<有害情報を得たときの状況>

直接、見た聞いた、ではないのですが、最近のインターネットカフェに行くと、若者たちがたくさんいるのを見ます。ネットだけでなく、ゲーム、カラオケ等もでき、宿泊することも可能なので、集う場として認識されていると思います。身分証や年齢制限などもあると思いますが、20才以上の人と一緒にだと、年齢に達していない場合も入場可能な施設もありました。いろんな遊びがある場だからこそ危険もあるだろうと感じています。

<有害だと感じた理由>

24時間、ゲーム、カラオケなど遊ぶことができ、高くない料金で、その場にいることができるため。

<取り組んだ事例>

問題の取り組みは特にしていないのですが、自分が利用する際などは、なるべく他の利用者とは関わりをもたないように、気づかいながら利用している。

<行政や業界へ望むこと>

警察や青少年関係の人たちの見まわりなど、定期的に行うことが必要だと思います。

(長崎県・女性・20代)

<有害情報を得たときの状況>

昨年(21年)夏すぎ補導員仲間から連絡を受ける。インターネットカフェ内に於いて高校生男・女が下半身を露出抱き合っている。現在その店舗は閉鎖されている。

<有害だと感じた理由>

不特定多数の人々が利用する店舗内であり他者へ与える影響(風紀上)問題ありと感じる。

<取り組んだ事例>

仲間の会員に指示する店舗側の管理者(店員)に連絡を取ること。店舗側から当事者への注意をして下さる様依頼すること。土曜日であったこと故月曜日に警察及び市教委などへ状況を報告する様伝えた。

<行政や業界へ望むこと>

業界へ常に店舗内の巡回(視)を行なって欲しい。健全育成のためにも、行政へ18才未満者の立入など法規制。通路など巡回時に内部の様子が見える(確認)ような施設の(店舗構造)指導(規制)など望ましい。

(石川県・男性・70歳以上)

<有害情報を得たときの状況>

児童が家出の際に宿泊所として利用した(当時小6)。

<有害だと感じた理由>

あきらかに未成年である児童でも会員証があれば1人で出入りができる。

<取り組んだ事例>

ネットカフェに行き、協力を要請（1人や児童達のみを使用時間など）店内見学。

<行政や業界へ望むこと>

今や、ネットやまんがだけではなく、卓球、ビリヤード、シャワーまである生活空間と化している。規制をして欲しい。

（東京都・女性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

友達2人で寝泊りして遊び回っていた（見た）。

<有害だと感じた理由>

まず学校へ行かなくなるし、お金を用意するのに色々な問題を起こす。

<取り組んだ事例>

父兄と学校関係者とで、その子達を説得して普通の生活に戻させた。

<行政や業界へ望むこと>

業界の人達も利益を上げることだけを考えず、問題のあるお客さんにしっかりと言い聞かせる姿勢が必要だと思われる。

（富山県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

インターネットカフェの駐車場の裏でゲーム機を持った数人の中学生を見た。家に帰って子どもに「あれは何をしているんだろう？」と聞いたら、“電波ドロボウ”をしてゲーム機にダウンロードしていると聞いた。

<有害だと感じた理由>

お金を払って利用するものをお金を払わず利用している所。

<取り組んだ事例>

自分の子どもにはしてはいけないと話しただけ。

<行政や業界へ望むこと>

“電波ドロボウ”をできない環境にして欲しい。

（愛知県・女性・30代）

<有害情報を得たときの状況>

インターネット検索。

<有害だと感じた理由>

誰でもアクセスして見られる。

<行政や業界へ望むこと>

年齢では制限できませんが、行政で国民NOを付けアクセス出来るようにと思うが、それも又不正が出来る。家庭地域社会でよい国を作る為に考え、私も考えます。

（神奈川県・男性・50代）

<有害情報を得たときの状況>

該当店舗で、青少年へのPC端末貸与において、身分確認と有害情報の制限（フィルタリング対応）が徹底されていない。

<有害だと感じた理由>

インターネット上の有害情報が入手できる。また匿名で犯罪に悪用されるおそれがある。

<取り組んだ事例>

該当店舗へ青少年提供時の配慮・啓発を行なっている。

<行政や業界へ望むこと>

法制度としての制限（罰則）が必要と思う。

（三重県・男性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

3人で巡視活動中、インターネットカフェにて、周囲は薄暗く、1.5mの高さで仕切られたコーナーの一角にて男女が身体を寄せていた。

<有害だと感じた理由>

インターネットを使用せず毛布に二人で身体を寄せていた（どうしたら良いのか分らず、声もかけられませんでした）。

<取り組んだ事例>

同行中の二人（巡視者）に話をする。その方が見に行った時、二人はパソコンをしていたので、二人には注意せず。活動日誌に記入し、報告する（今後、そういう事を発見した時には店の人に話をする）。

<行政や業界へ望むこと>

インターネットを利用するコーナーをもう少し明るくして欲しい。

（石川県・女性・60代）

<有害情報を得たときの状況>

原則的には大人同伴となっているが有害図書等のコーナーへ青少年が入ることは可能である。

<有害だと感じた理由>

年齢チェックをしている様子はなくDVD等を借りることは中・高生でも服装次第で可能。

<取り組んだ事例>

店員に確認をした上で貸し出しをするよう要望した。

<行政や業界へ望むこと>

業界に対しては厳しい指導が必要。

（愛知県・男性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

会員証、飲み物、軽食、0円個室、シャワー付、遊具、カラオケ室、ゆっくり仕事出来るとの話（ノートパソコン、インターネット）雑誌の数々。

<有害だと感じた理由>

こういうご時世何か怖いです。「親が子どもを預けて買物に行く（店主）」何げなく言われた言葉。この言葉に問題有りと思いました。

<取り組んだ事例>

青少年課、警察サポートセンターに行きました。現在警察巡回（教育委員会青少年室、時々）。

<行政や業界へ望むこと>

警察に度々巡回して戴く事（インターネットカフェ、好ましくないと思いました）。

（山口県・女性・70歳以上）

<有害情報を得たときの状況>

やはり青少年のたまり場になっている。めったに私自身、行きませんが、たまたま行ったらそういう場面に出会うことがある。土曜日等お休みの前日ですが、人の話でも。

<有害だと感じた理由>

私自身も未成年の時代はあり、自慢はできませんが喫煙、飲酒等に対する無茶苦茶な行動が気がかりです。

<取り組んだ事例>

かつての若者宿、青年団の復活が課題だと思う。今、地域の高校卒業生くらいの人にアンケート、生活実態調査を行ない若者の集まりの場をつくっていきたいと思っています。

<行政や業界へ望むこと>

現役の市、県の青年団への相談、助言をもらおうとしている。

（石川県・男性・50代）